

Re-Style LIVE Vol.4 withチーム・マイナス6% 実行委員会

エンタテインメントを通して、環境問題へのメッセージを発信するLIVEイベント  
**「Re-Style LIVE Vol.4 withチーム・マイナス6%」のご案内**

絢香、GLAY、K、HOME MADE 家族が出演！（※50音順）

『Re-Style LIVE』は、「面白く・楽しく、でも真剣に伝える」をテーマに、“音楽とエコロジーを融合させた”イベントです。来場者に、環境問題をより身近な問題として考えてもらうきっかけとなることを願い、開催します。2003年10月の第1回開催から環境省のサポートのもと、“自称カリスマ・エコDJ:やまだひさし”を中心に組織されたRe-Style LIVE実行委員会が企画・制作・運営を行っており、今回も入場無料の完全招待制で行います。

4回目を迎える今回は、「うちエコ！」(家の中でできる温暖化対策)をテーマにメッセージを発信します。出演するアーティストも我々の思いに賛同し、音楽を通して地球温暖化防止のメッセージを伝えます。

以下にRe-Style LIVE Vol.4の概要をお伝えするとともに、次頁以後で私たちの活動の背景、Re-Style LIVEの歴史・取り組みなどを、様々なエピソードと共にご紹介させていただきます。

●Re-Style LIVE Vol.4 withチーム・マイナス6% 実施概要

【日時】3月8日(木) 18:00開場 19:00開演

【会場】渋谷C.C.Lemonホール (旧 渋谷公会堂)

【主催】チーム・マイナス6%(環境省)

【共催】ジャパンエフエムネットワーク

【協力】首都高速道路株式会社、ソニー株式会社

【事務局】Re-Style LIVE Vol.4 withチーム・マイナス6%実行委員会 (ジャパンエフエムネットワーク、やまだマイク、ソニー・ミュージックコミュニケーションズ、ディグアップエンターテインメント)

【テーマ】うちエコ！(家の中でできる温暖化対策)

【参加方法】規定に基づき携帯から応募。当選者を無料でご招待。

【総合司会】やまだひさし

【出演者】



絢香



GLAY



K



HOME MADE 家族 (50音順)

— この件に関するお問合せ —

ジャパンエフエムネットワーク内 Re-Style LIVE 実行委員会

広報担当：近藤 彰 / 事務局：前田芳子

電話：03-3221-0244 / 携帯電話：090-7867-3653(近藤)

FAX：03-3221-0075 / Mail：[re-style@ifn.co.jp](mailto:re-style@ifn.co.jp)

## Re-Style LIVEの背景

## &lt;きっかけ&gt;

ラジオDJであるやまだひさしが『環境問題への思いを、ラジオのリスナーでもある若い世代に伝えたい』と思ったことがきっかけでした。しかし、彼らに難しい問題をそのまま伝えても行動には結びつきません。若い世代に環境問題を伝えるためには「簡単に、面白く、でも真剣にエコを伝えること」が必要であると考えました。それを若い世代が憧れるアーティストと一緒に訴えることができれば、きっと若者も共感してくれる、そしてそれが地球を救う力になる。私たちの活動はそんな思いからはじまりました。

## &lt;GLAYとRe-Style LIVEの出会い&gt;

2003年秋～2004年春までの間、「やまだひさしのラジアンリミテッドDX」の企画で“全国エコキャラバン”が実施されました。ハイブリットワゴンカーで全国を回り、TOKYO FM/JFN系列全国36局のリスナーから寄せられた“自慢したい・自慢したくない私のまちのエコスポットレポート”を各地から半年間毎深夜放送するこの企画は、やまだひさしのエコ活動の原点とも言えます。「全国エコキャラバンをやろう！」と思い立った当初、スポンサーが見つからず車を買うお金を捻出できずにいたある日、やまだひさしに共感したある男から「好きなように使ってくれ」と1台の車がプレゼントされました。当時は、騒ぎにならないようにとの配慮から世の中へは伏せてきた話でしたが、何を隠そうその男こそ、GLAYのメンバーだったのです！GLAYはVol.1のTERU & TAKURO、Vol.2以降はメンバー全員総意のもと参加してくれています。

## &lt;過去の参加アーティスト・ゲスト&gt;

## ●第1回 2003年10月27日

ORANGE RANGE／下地勇／ガレッジセール／HYDE／元ちとせ／TERU & TAKURO (GLAY)  
※詳しくは <http://www.re-style.jp/live3/history.html> でご確認ください。

## ●第2回 2005年3月10日

琉球ディスコ／GOING UNDERGROUND／木村カエラ／GLAY  
※詳しくは <http://www.re-style.jp/live3/history02.html> でご確認ください

## ●第3回 2006年2月27日

VERBAL(m-flo) & Ryohei／伊藤由奈／DEPAPEPE／GLAY／小池環境大臣(特別ゲスト)  
※詳しくは <http://www.re-style.jp/live3/index.html> でご確認ください。



## イベントにおける環境への取り組み

Re-Style LIVEはエコと音楽を融合させた画期的な新体系ライブイベントとして、日本各地の環境団体や音楽業界などから、注目を集めるほど大きく成長しました。それだけに、舞台裏では全スタッフ、関係者、出演するアーティストも気合いを入れて環境活動に取り組んでいます。Vol.3の会場を訪れた東京都の職員からは「今まで数限りない環境イベントを見てきたが、これほど環境を全面に出し、実際に取り組む、なおかつ、若い世代の人たちが存分に楽しめるイベントを私は知り得ない！」と最大限の賛辞をもらいました。国会で審議され、毎年発行されている「循環型社会白書」にも、その取り組みが掲載されています。

以下、具体的な取り組みのご紹介

### <オーガニックフードケータリングの採用>

Re-Style LIVE 規模のイベントを行うと、通常150食程度の弁当が必要になりますが、弁当は大量のごみを生み出します。プラスチック容器、割り箸、残飯、パッケージの厚紙など、その量は45リットル入りごみ袋20袋にもなります。それを見直したいと考えた我々は、食事は弁当ではなくケータリングを採用し、必要な人が必要な量だけ食べるスタイルをとることで、大幅にごみを減らしました。さらにメニューには、身体にも地球環境にも負荷が少ない、オーガニック食材を使った料理を選んでいきます。



### <リユースカップ、Re食器の使用>

Re-Style LIVEの会場に紙コップはありません。ステージ上をはじめ、スタッフ控え室でも舞台裏でも、Re-Style LIVE に関わる人が、飲み物を飲むときは、必ずリユースカップを利用します。もちろん、来場者向けのドリンク販売もすべてリユースカップ。Vol.2のときは、京都からリユースカップ洗浄カーが応援に駆けつけてくれました。さらにケータリングに使った食器は岐阜県多治見市で生産されている壊れた陶器を再生させたRe食器(再生食器)。さらにアーティストが使った食器は、抽選でプレゼント。どこまでも徹底的にエコを追求します。この様子を見た音楽関係者は「これから、自分たちのLIVEなどでも使っていこうよ！」と、言ってくれました。まさに、音楽と環境を結ぶ「エコ・ウェーブ」が広まった瞬間でした。



### <スタッフパスは再生紙、張り紙は裏紙、インクは大豆インク、紐は生分解性素材、チラシの全員配布は禁止>

スタッフパスは古紙再生紙、張り紙は裏紙を使用しています。また、当選葉書や関係者用パスをよく見ると、「PRINTED WITH SOY INK」と入った小さなマーク(ソイシール)が入っています。ライブで使ったこれらの印刷物には、大豆インクを使っています。また、スタッフパスをつるす紐は生分解性(微生物が分解するため、土に還すことができる)の素材を利用。また、イベント会場で強制的に来場者に配られることの多いチラシの数々。必要ではない人に渡してもごみになってしまうので、Re-Style LIVEでは、チラシカウンターを設け、「必要な人が必要な数だけ」チラシを持って帰るスタイルをとっています。

小さなことでも徹底的にエコを追求しています。

### <イベントを支える電力は全てグリーン電力を使用>

Re-Style LIVEで使用する電力は全てグリーン電力を使用しています。過去3回会場として使用したZEPP TOKYOは、常時、風力発電で電力をまかっていますし、今回会場となる渋谷C.C.Lemonホールでは日本自然エネルギー株式会社が行っているグリーン電力証書システムを利用してグリーン電力を導入します。

※グリーン電力証書システム: 自然エネルギー、すなわち風力、太陽光、バイオマス、マイクロ水力、地熱などで発電された電力を選んで購入するしくみ。

## Re-Style LIVE の進化

Re-Style LIVEをはじめたころ、来場者に「環境と音楽を融合させたイベントについて、どう思われますか？」などと抽象的なコメントを求めると、出演アーティストに関するコメントばかりがかえってきました。しかし、前回Vol.3をおこなった際、同じ質問をすると「Re-Style LIVEを知ってから、エアコンの設定温度を気にするようになり、家でも学校でも暖房は20℃、冷房は28℃にバリバリ調節してます！」や「マイバックを携帯するのが当たり前になりました！それもオーガニック・コットン、生成100%です！」をはじめ、「ハイブリッド自動車に変えました」「どこに行くにも電車です！」「生分解性プラスチック製品かどうか確認してから、商品を買うようになりました！」「印刷物は大豆インクじゃなきゃ時代遅れだよね！」「マイ箸を持ってますよ！ホラ！」などなど、多種多様なアクションが返ってきました。

当初、出演するミュージシャンを見ることだけで満足していた来場者から、イベントの回数を重ねるごとに、「自分たちは何が出来るのか？」「私はこうしたいです！」というような意見を聞けるようになったことは、素晴らしい進歩だと思っています。

私たちは来場者のコメントの変化を通して、過去3回の意義とそれを続けていくこと責任を強く感じています。そして来場者のコメントが変わっていったのと同じように、Re-Style LIVEそのものが、次世代への1つの提案として「アクションを起こす」きっかけになればと考えています。

## やまだ ひさし プロフィール



TOKYO FM/JFN系列全国36局ネットプログラム「やまだひさしのラジアンリミテッドDX」(月～木/25:00-27:00)のメインパーソナリティ。フジテレビ/FNS系列の「すぽると」のナレーションなど、地上波・衛星波のテレビを中心に音楽・映画関係のイベントMCも数多く務める。『ジュニア・ベジタブル&フルーツマイスター』の資格を男性DJで初めて取得。また、昨年初めて開催された「エコ検定」においては高得点で合格。自称「カリスマ・エコDJ」として幅広く活躍中。まくし立て系早口本音トークの第一人者として定評がある。環境への取り組みにとっても熱心で、これまでも環境省の数多くのイベントに協力。特に、音楽をきっかけとして環境への取り組みを呼びかける環境省主催の「Re-Style LIVE」においては、過去3回、その中心となって活躍。今年3月に行う「Re-Style LIVE Vol.4」においてもエコロジーとエンタテインメントの融合の紹介者として4回目の総合司会を務めます。